

リーガル女子参加者インタビュー

当時中学3年生のとき、第1回リーガル女子（2019年11月・名古屋大学で開催）に参加。
現在、名古屋大学法学部1年生。

ーリーガル女子に参加した時のことを教えてください。

私は、中学3年生のときに、名古屋大学で開催された第1回（2019年11月）に参加しました。当時、高校受験を控え進路に迷っていたところ、担任の先生から、国語が得意なら法律家もいいんじゃないのと言われ、リーガル女子のチラシをもらったのがきっかけです。

ー一人で参加されましたか？

母に相談したら母も勧めてくれて、母と二人で参加しました。

ーイベントの内容で印象に残っていることはありますか？

10人ずつのグループに分かれて、直接、裁判官、検察官、弁護士の方とお話しできたのがとても良かったです。北海道から来ていた弁護士の方が、「白い恋人」を差し入れてくださって、みんなでお菓子を食べながらリラックスしてお話しできました。それまで私が参加したことがあるこのようなイベントは一方的にお話を聞くだけでしたが、リーガル女子は、質問しやすい雰囲気を作ってくれて、とても楽しかったです。

ーああ、コロナ前はお菓子を食べながらやっていたね。またやれるようになるといいのですが…。話の中で覚えていることはありますか？

検察官の方が、検察官になってからアメリカに留学されたというお話をされていて、法曹といってもいろんな可能性があるなと思ったのを覚えています。また、弁護士の方が、「生まれ変わってもこの職業につきたい」と言っていて、カッコいいな、それだけ魅力のある仕事なんだなというのを感じました。子育て中の方の話聞くこともできて、女性でもワークライフバランスがとりやすいなとわかり、安心しました。

ー他の参加者とは何かお話しされましたか？

当日に仲良くなった同じ年の子がいて、ロビーで一緒にクイズをしたりして楽しかったです。どこの高校を目指しているのとか話もして、刺激を受けました。

ー参加してどうでしたか？

弁護士はカッコいいなと思い、弁護士になりたいなと強く憧れを持つようになりました。またそのとき初めて名大にも来て、この大学の法学部に入りたい、と思うようにもなりました。この時に抱いた気持ちのまま、名大の法学部を目指して勉強を続け、今年の春に無事に入学を果たしました。

ーリーガル女子が職業だけでなく、大学進学への選択の助けにもなったというのはとてもうれしいです。お母様はどんな感想を持たれていましたか？

母自身がそうなのですが、女性は仕事をしていても出産や子育てで辞めざるを得ないことがあるから、法曹のように資格を持って子育てしながら働き方を調整できるのはいいね、と言っていました。今も私の進路を応援してくれています。

ー今は法学部の1年生ですね、法学部での勉強はどうですか？

ちょうど1年の春学期が終わったところです。春学期は法律科目はあまりなかったのですが、心理学など、いろいろなことを学んでいます。法律科目としては、基礎セミナーで刑事法を学んでいます。

ー心理学など、法律ではない学問分野も面白いですよ。

はい、法律の分野に進んでも役に立つ内容がいっぱいあると思います。そういえば、リーガル女子のときも、裁判官が、交通事故の審理のために物理の理解が大切になったことがある、というお話をされました。私は物理は得意ではなかったのですが、そのお話を聞いて、物理も勉強しなくちゃなと思い、高校のときに勉強しました。

ー医療事件や不動産鑑定が問題となる事件など、法律家が取り組む事件は、本当に多様なことが関連しますもんね。ほかに、大学生活で楽しかったことはありますか？

先日機会があって、三重県の熊野と新宮の法律事務所などを訪問する視察ツアーに参加しました。また、もうすぐ名古屋市内の法律事務所でのインターンシップにも行く予定です。

ー積極的に色々参加されていますね。実際に法律事務所に行ってみて、どうでしたか？

扱う事件数の多さや、本棚にびっちな書籍などをみて、大変さも感じました。リーガル女子の時は素晴らしい面を中心に憧れを感じていただけでしたが、これからは弁護士の大変さや苦勞も含めて、より実態について知りたいと思っています。

ー大変だけど面白い、法曹の仕事に興味を持っていただいて嬉しいです。今後の進路についてはどう考えていますか？

弁護士になることを目標に、究法会というサークルに入って、仲間と勉強を始めています。司法試験予備校にも通っています。予備試験を受験しつつ、ロースクールへの進学も視野に入れて勉強を進めていきたいと思っています。

ーリーガル女子をきっかけに、弁護士を志望されて、いきいきと大学生活を送っている姿がとっても眩しくて素敵です。ぜひ引き続き頑張ってください。最後に、今年リーガル女子に参加する後輩の皆さんに一言お願いします。

私は、リーガル女子を通して弁護士という仕事の魅力を知り、具体的な自身の将来設計に繋げることができました。将来の職業を考える中で、出産や育児など不安なことも多いと思います。今回、沢山の女性法曹の方のお話を聞ける貴重な機会だと思います。是非参考にしてみてください。

また、女性の法曹は年々増えているものの、まだまだ男性の割合が高いです。今回のリーガル女子をきっかけに法曹の世界に興味を持っていただき、一緒に法曹を目指すことができたら嬉しいです。そして、女性の法曹が増えたら良いなと思っています。